

## 平成30年度

### 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全の確保と人命の尊重がバス事業者の最大の使命であることを認識し、役員・社員が一丸となって、その使命達成に全力を尽くす。
- (2) 輸送の安全に関する法令や関連する社内規程を十分理解するとともに、これらを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
- (3) 安全管理体制を維持向上させるため、常に仕事の点検と確認を怠らないようにし、継続的改善を図る。
- (4) 事故防止のため、社員の健康管理体制を一層強化する。
- (5) 輸送の安全に関する方針や目標などの情報を、ホームページを活用するなどして、利用者に積極的に公表する。

千歳相互観光バス株式会社

代表取締役社長 中 村 敬 臣

## 平成30年度安全目標

- (1) 人身事故をゼロに！
- (2) 事故件数を前年度より半減！
- (3) 一般道・高速道とも法定速度を遵守！
- (4) 飲酒運転は厳禁！
- (5) 始業前点検・終業時点検の徹底！
- (6) 心臓・呼吸器疾患の早期発見と早期治療！

千歳相互観光バス株式会社

代表取締役社長 中 村 敬 臣

輸送の安全に関する基本方針と安全目標に基づく取組計画

(平成30年度)

区 分	具体的な取組項目
<p>安全教育と安全運行に関する取組</p>	<p>警察署や保険会社と連携した安全教育の実施（年2回以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提携保険会社から講師を招き、<b>危険予知トレーニング</b>を実施</li> <li>・札幌厚別警察署と千歳警察署に講師派遣を依頼し、安全運転セミナーを開催</li> </ul> <p>救急救命講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署に講師派遣を依頼し、心臓マッサージやAEDの実技講習を実施</li> </ul> <p>役員と管理職による安全巡回や同乗指導を随時実施。その結果を社内で公表するとともに、必要に応じて個別に乗務員を指導教育</p> <p>自社と他社における事故事例（新聞報道や北海道バス協会からの情報を含む。）と警察署からの交通事故例を社内掲示板で周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ記録に基づく法定速度遵守状況の把握と、必要に応じて乗務員への指導を実施</li> <li>・記録管理付きアルコールチェッカーの厳格な運用</li> </ul> <p>終業点呼時において運転者から道路情報や危険情報を取り寄せ、事故防止を徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型二種免許取得に当たっての全額助成措置を継続</li> <li>・新採用運転手に対する教育訓練の実施 標準座学時間42時間及び標準運転時間125時間の確保</li> </ul>
<p>安全輸送に関する設備充実の取組</p>	<p>デジタコによる省エネ運転のさらなる励行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ記録に基づいてアイドリングの短縮等を指導</li> </ul> <p>衝突軽減装置や横滑り防止、居眠り運転防止付きの<b>新型貸切バスを2台導入（平成31年3月に導入予定）</b></p>
<p>事故多発者や高齢運転者等への指導</p>	<p>大きな事故を引き起こした者や事故多発者に対する適性診断（カウンセリング付き一般診断を含む）の実施</p> <p>60歳以上の高齢運転者に対する研修と適性診断の実施</p>
<p>健診体制の充実強化による事故防止</p>	<p><b>脳MRI検査等の実施による脳疾患・呼吸器疾患・心臓疾患・睡眠時無呼吸症候群の早期発見と早期治療</b></p>
<p>その他取組内容の公表など</p>	<p>自社のホームページで輸送の安全に関する基本方針や安全目標、達成状況などを公表</p> <p>運輸安全マネジメントの評価項目を取り入れた勤務評価の継続実施</p>

## 平成30年度 予算計画書

(輸送の安全投資計画に関するもの 総額8,200万円)

※金額はいずれも税抜き

- 1 各種安全装置（衝突被害軽減装置など）付き最新鋭貸切バスの購入  
1台40,000,000円×2台=80,000,000円
- 2 運転者の適性診断手数料 168,000円
  - ・初任診断 4,700円× 5人=23,500円
  - ・適齢診断 4,700円×20人=94,000円
  - ・特別診断 10,100円× 5人=50,500円
- 3 指導講習手数料（テキスト代含む） 77,000円
  - ・基礎講習 11,300円× 5人=56,500円
  - ・一般講習 4,100円× 5人=20,500円
- 4 提携保険会社による危険予知トレーニング実施費  
講師謝礼、昼食代など 20,000円
- 5 警察署による安全運転セミナー開催費  
講師謝礼など 10,000円
- 6 消防本部による救急救命講習実施費  
講師謝礼など 10,000円
- 7 従業員健康診断実施費 630,000円  
90人×7,000円（平均単価）
- 9 睡眠時無呼吸症候群検査費 90,000円  
30人×3,000円
- 10 脳MRI検査費及び肺機能検査費 1,000,000円  
50人×20,000円（セット）

輸送の安全に関する取組計画の達成状況(平成29年度)

区 分	具体的な取組項目	取組達成状況	マネージメントレビュー (是正・改善)
安全教育と安全運行に関する取組	警察署や保険会社と連携した安全教育の実施	・札幌厚別警察署に講師派遣を依頼し、安全運転セミナーを開催 ・保険会社に委託して運転危険予知トレーニングを実施	今後も継続して実施するとともに、内容のさらなるバージョンアップを検討していく
	①. 救急救命講座の開催 ②. 車両火災、事故の避難誘導訓練の実施 (2年に1度の奇数年)	北広島市消防本部に講師派遣を依頼し、①. 心臓マッサージとAEDの実技講習と、②. 避難誘導の実車使用実技訓練を実施	継続して実施
	役員による安全巡回と同乗指導の実施	随時実施済み	継続して実施
	自社・他社の事故例や警察からの事故例を掲示	掲示済み	継続して実施
	デジタコ・ドライブレコーダー記録計に基づく法定速度厳守状況と運転状態の把握 終業点呼時における運転者からの改善情報の提供	随時チェックし、必要に応じて乗務員を指導済み  随時、提供を受けている。	より指導強化  記録化し、他の乗務員に周知徹底
	新規採用運転手の初任運転者特別教育と訓練	4名の教育訓練を実施済 ①. 座学42時間(法令、整備) ②. 実技76時間(運転)	継続して実施
	大型2種免許取得に当たつての助成措置	4名実施済	引き続き実施予定
安全輸送に関する設備充実の取組	デジタコによる省エネ運転の励行	デジタコ記録に基づいてアイドリングの短縮等を指導	引き継ぎ、燃料費削減と地球にやさしい運転に努める。
	記録管理システム付アルコールチェッカーを導入後の指導教育	検査映像の映し方と、記録保存状態を確認し、指導と教育を実施済	管理指導の強化とモラルの向上
	ドライブレコーダー映像を活用した指導教育	個別運転指導教育の実施	個別指導指導、個別教育の充実強化

※次ページへ続く

輸送の安全に関する取組計画の達成状況(平成29年度)

区 分	具体的な取組項目	取組達成状況	マネージメントレビュー (是正・改善)
初任運転者や高齢運転者等への指導	初任運転者や高齢運転者に対する研修と適性診断の実施	初任診断7名、適性診断13名を実施済	継続して実施
運行管理者の講習受講	全営業所の一元管理を実施(未受講者対策)	基礎講習5名、一般講習11名が受講済	継続して受講管理を徹底
運行管理者試験	代務者を運行管理者にスキルアップ	受験者4名のうち合格者1名	継続して合格率のアップを目指す。
その他取組内容の公表など	ホームページで安全に関する方針や安全目標、取組の達成状況などを公表	実施済み	公表内容をさらに工夫すること。
	輸送安全マネジメントの評価項目を取り入れた勤務評価の実施	平成29年12月に実施済み	さらなるレベルアップを目指す。

自動車事故報告規則第2条(重大事故)に規定する事故件数の状況は、次のとおりです。

自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

区分	平成28年度事故件数	平成29年度事故件数
正面衝突又は追突	0 件	0 件
後退時追突	0 件	0 件
路外転落	0 件	0 件
車両故障	0 件	0 件
車両火災	0 件	0 件
その他	0 件	0 件
合 計	0 件	0 件